

発行所 兵庫県山岳連盟
神戸市灘区王子町2丁目王子公園内
電話・FAX (078) 801・3267

定価1部 50円年間購読料1000円
兵庫県山岳連盟会員は会費に購読料を含む
©編集兼発行人 伊藤 一雄

兵庫山岳

昭和43年 7月12日第三種郵便物認可

2017 春山に向けて警鐘 技術遭対委員長 一本松文夫

技術遭対委員長

一本松文夫



ダウラギリ西壁

春の訪れと共にハイキングにとでも良い季節を迎えます。この時期は山菜取りに夢中になり遭難するケースが増えています。

地図読みが上手くできず不確かな場合であってもできるだけ思考します。そして歩いてきた道を引き返します。慌てず焦らずにもと来た道

ハイキングでの遭難原因としては、下山ルートを見失い、焦って急峻な尾根や谷筋に迷い込み、転倒や滑落し事故になるケースが多くあります。

下山途中道に迷ったかなと思ったり、そこで行動を一旦休止し、地図を広げ磁石で方位を確かめ自分がどこにいるかを調べます。

下山途中道に迷ったかなと思ったり、そこで行動を一旦休止し、地図を広げ磁石で方位を確かめ自分がどこにいるかを調べます。

それでもどうしても正しい登山道に出られず、夜も更け疲れも出て来た時、体は怪我もしていないし元気で遭難した訳ではないけれど、これ以上行動するのは危険と判断した場合、ピバークを考えて下さい。

ピバーク地は安定した地形を選ぶ。谷筋の場合、降雨があれば水が流れるような場所は避ける。風を避け降雨の影響を受けにくい地形を選ぶ。

ウェアは雨具等身に着けずエルトがあれば張り、なければレスキューシートやレジャーシートを持参してれば、体に巻き寒さ対策を行い夜明けまで過ごす。

近郊の山であっても地図磁石雨具ヘッドランプは必ず携行するように(ツェルトもあれば有効)。

そして行動計画は必ず身内の方に書面で伝えて行くようにして下さい。

ハイキング中仲間が転倒し自力では動けなくなった時や体調を崩し早急に医療が必要な場合どのように対応するかを事前に心得て置くことも大事なことです。

雨具、ヘッドランプ、地図、コンパスの他に、安全環付きカラビナ1枚、カラビナ2枚、補助ロープ7mm〜8mm×10m、120ソウンスリング2本、60cmソウンスリング2本、プルージックコード1本、ツェルト、レスキューシート、テープングテープ、プラスチック手袋、三角巾、ガーゼ等を携行してセルフレスキューに備えて頂きたいものです。

残雪の山に入山される際、積雪量が少なくても、谷筋から入山する場合は、上部や側壁からのブロック雪崩には細心の注意を払って行動して下さい。

気象や雪の状況のほか、雪稜や雪壁登攀を行う場合どのような確保支点を構築するかが重要です。

立ち木や岩が支点に使用できない場合はスノーバー、アックス、土嚢袋等に雪を入れた雪袋等を利用して支点を構築します。

また十分な支点を構築する状況にない場合、スタカット登攀の確保方法のひとつに、雪面に座って腰がらみで行うビレイ方法や「スタンディングアックスビレイ」と言う確保方法があります。

何れもしっかりとした確保ができるように雪面を踏み固め安定した雪面を作ることが重要です。

雪の斜面や尾根をコンテイナーで行動する場合、視界の悪い雪庇のある稜線やクレバスのある地形での行動時の確保方法に「タイトロープ」方式、新人を連れて行動するときの確保方法に「ショートロープ」方式。また「大阪方式」と言われる確保方法があります。

何れの技術も十分トレーニングして習熟しておかないと効果が期待できません。

雪山に入る前に事前に十分技術を磨くようにして下さい。

登山計画書は必ず提出しよう！

登山計画書は必ず提出しよう！

登山計画書は必ず提出しよう！

登山計画書は必ず提出しよう！

登山計画書は必ず提出しよう！

お食事・各種ご宴会に

Gourmet Promenade
グルメプロムナード
SINCE 1997 IN KOBE

各線三宮駅すぐ神戸交通センタービル

10F 日本各地から取寄せた旨い物と名酒に出会える
レストラン&BAR

11F 備長炭の本格炭火焼
厳選されたこだわりの素材をご堪能下さい。
炭火焼 博多水炊き

12F 大正六年創業の
名門料亭の味わいを
日本料理

13F 鉄板焼きパフォーマンスを楽しみながら
神戸牛を堪能してください！
ステーキハウス

14F 六甲山系を望みながら
畑の見えるレストランで地元食材を堪能!!
地産地食ダイニング

15F ていねいに抽出した珈琲が
自慢のカフェテラス
喫茶



TEL.078-331-1233

TEL.078-325-1235

TEL.078-333-0678

TEL.078-392-2989

TEL.078-332-2831

TEL.078-391-4057

厳冬期・飛騨尾根へ滝谷継続登攀②

丹波山岳会 吉廣 俊之

12月31日(土)、昨日フィックスしたロープでジャンダルム飛騨尾根に乗ったあたりで、夜が明け始めた。

遠くに見える槍の穂先に風雲が集まってくるのを認め、なるほど簡単にはいかないようだ。

12時ごろ、多大な反省と登攀の興奮冷めぬ中、登ってきた飛騨尾根は足元に消え、ついにジャンダルムの頂上に立った。

3ピッチ目、やはりやってしまいうんだよなあ。登り始めて目測を誤ったかもしれないと思った時には、すでに引き返せない局面に陥っていた。どうやらルートファイディング失敗のようだ。

限られたプロテクション、残置はなく、いよいよ本領発揮の風雪の烈風によって眼鏡が凍らされ視界が効かない。

IV級ほどだが、絶対に落ちることは許されない節理の乏しいフェイス登攀は遅々としか進まなかった。

鼓動は早いのに妙に頭は落ち着いて、足は震えないので、なんとかこなせるだろうと思った。このピッチで要した

時間は、最後の後藤さんが登り終えるまで3時間、自身としては、不思議なことに一瞬のことに感じたのだが、風雪と寒気の中、3000m越えの地点で動かずにいるみんなは、さぞかし苦痛だっただろう。

ブレイド地点に田村さんが着いた時の「楽しかった、ありがとう」の言葉が、精神を強く支えてくれた。おそらく、生涯忘れられないピッチとなるだろう。

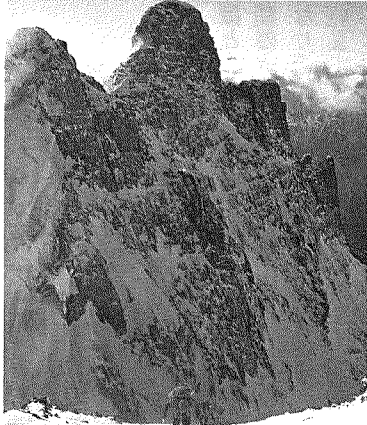
やれやれ、天候はすっかり回復し、紺碧の空に最も美しい稜線を越え奥穂高岳へ向う。思えば遠くへ来たものだと思う。花鳥風月を楽しむ知恵や才能があれば、こんな遠い水と岩に囲まれた寒く恐ろしい

世界に、凡庸な男が来るはずもなかったが、この素晴らしい稜線を仲間とともに越えていけるこの時が、自分自身を最大に満足させてくれるよう

で、もうすっかり魅せられてしまっただけ出せない。奥穂高への稜線は北アルプスの中でも屈指の難ルートだ。経験値を多く必要とする岩稜や、雪稜に臨機応変に対応しなければならぬため、

トップを後藤さんに代わってもらい、ロボの耳を懸垂2回、馬の背をコンテで通過し、15時、奥穂高岳の文字通りの絶頂を楽しんだ。

16時、乾いた快適な穂高岳山荘小屋に到着、長い1日のプレッシャーからやっと解放された。



飛騨尾根を背景に

1月1日 (日)元旦朝食。貧相な私の食料に憐れみを買ひ、それぞれにお年玉と称して食料を恵んでもらう。ちなみに、今回の私

の食料計画は、朝食自作シリアル100gと紅茶(OLメシだとからかわれる)、行動食エナジージェル3つとブラックサンダー4個、夕食自作マッシュポテト120gとコンポタージュ、紅茶、これを1週間分用意してきたわけだが、2日目にしてすでに飽き飽きしていた。

6時、素敵な朝食が終わって、さあ小屋を飛び出してみると、風雪が爆発し、烈風が顔を叩きつけて凍らせ、視界がほとんど効かない。まあ、起きた時からうすうす感じてはいたが、昨日の晩をある程度の好天のつもりでウキウキで寝た反動で、参っしてしまう。大好きな高気圧さんは、どこに行かれてしまったのか(実際、まだこの時おられます)。とりあえず、北穂高小屋まで一つでもコマを進めたい。例のごとく眼鏡が凍って、

トップを行く後藤さんの足元しか見えない。これは、一人なら間違い無く遭難すると思いが、情けなくただ後をついていくしかなく、精神的に一番辛い時間だった。

分かりにくい涸沢岳の鎖場を下って、ながい鎖、ハンゴを頼りに手探りで下降する。最低のコルを過ぎて、稜線の核心部は越えたあたりで、

天候もソフトでポップな感じにはなってきたものの、不安定な雪や水のトラバースが一時も精神を休ませてはくれず、ふくらはぎは猛烈にパンプする。足を滑らせればいつでも死ぬような北穂高小屋までの神経衰弱の道中にうんざりしはじめた頃、3時間半かけてようやく小屋にたどり着いた。

10時過ぎ、体調不良の田村さんを小屋に残して、3人でこの日に滝谷では最も親しみやすいクラック尾根へ挑戦することとなった。

涸沢側は、天候が回復しつつあるようだが、滝谷はガスの中で、なるほど話に聞く気象の通りだ。時折見える水をまとった荒々しく厳しい岩壁が、その登攀の困難さを思わせる。アプローチ路であるb沢から、陰鬱で暗い滝谷へゆっくりと下って行く。

(次号に続く)



馬の背を越えて

便利で大変リーズナブルな多目的貸し会場
阪急王子公園駅から徒歩3分

緑の中のミーティングルーム
王子サロン (神戸登山研修所)

神戸市灘区王子町2-2-1 王子公園内(競技場北側)
TEL・FAX(078)-801-3267 <http://www.hma.jp/>

次に登る日を、もっと好い日に。

好日山荘 & GRAVITY RESEARCH

好日山荘 神戸本店 ☎:078-265-2045	好日山荘 姫路駅前店 ☎:079-280-5520	好日山荘 明石大久保店 ☎:078-938-2010
GRAVITY RESEARCH KOBE ☎:078-855-8043	GRAVITY RESEARCH HIMEJI ☎:079-280-7520	GRAVITY RESEARCH AKASHI ☎:078-938-2010

はりま支部

山友の集い・冬の氷ノ山

2月19日(日)はりま支部合同登山、山友の集い(冬山)を氷ノ山で行いました。

各山岳会で別々のルートをとることとなりましたが、私の所属する姫路岳友同人は、山スキー1名、スノーシュー8名、ワカン3名と総勢12名で、流れ尾から頂上を目指しました。

8時30分に氷ノ山国際ス



キー場の駐車場を出発、3本のリフトを乗り継ぎ、スキーゲレンデの最上部で入山支度。休止リフト沿いを少し登って、9時過ぎに流れ尾の取り付き点に到着しました。

登山者の少ないルートで先行者もなしということだったので、ラッセルになるかとも思われましたが、雪がほどよく締まっており、スノーシュー

の浮力も手伝って、終始快適に歩くことができました。

ただ、途中に岩肌の露出した急斜面があり、アイゼンであればなんなく登れるでしょうが、スノーシューをはいのまま登るのには、かなり難儀しました。

その後も急な雪面いくつか越え、12時に頂上避難小屋に到着しました。

あいにく頂上はガスにつつまれていて展望はなかったものの、避難小屋には多くの登山者があふれかえっており、早く食事と休憩を済ませた後、記念撮影をとり足早に東尾根の登山口に向けて下山開始。

下山開始後ほどなくして、それまでのガスが急に晴れ、眼前に青空と氷ノ山の雪原、周辺の山々というすばらしい景色が広がりました。

それに呼応して、みんなの気分も高まり、白銀の上にシュプールをつけて快適にすべる人、持ってきたヒップソリで楽しそうにする人、トレスのない場所をスノーシューで楽しそうに歩いていく人と、みな思い思いの方法で冬の氷ノ山を存分に満喫しました。15時30分東尾根登山口に到着、スキー場を降りて帰路に着きました。

(姫路岳友人会 上田明寿)

兵庫ジュニア

ボルダリングカップ

5回目となる兵庫ジュニアボルダリングカップを3月20日に神戸登山研修所にて開催いたしました。

今回も滋賀、京都、大阪の他府県からの参加もあり、総勢30名の子どもの参加者で大いに盛り上がった競技会となりました。結果は

- 【小学1・2年クラス】
優勝 金岡 葵(西宮市)
2位 榎原カレン(神戸市)
3位 古本 桜也(尼崎市)
- 【小学3・4年クラス】
優勝 古本 一磨(尼崎市)



榎原カレンさん

- 2位 西尾 洸音(川西市)
- 3位 一興 芽生(滋賀県)
- 【小学5・6年クラス】
優勝 松岡 玲央(明石市)
2位 阪上 和香(宝塚市)
3位 中山 ちよ(京都府)

回を重ねるごとに参加者の競技力が上がってきているのが実感できて、これからのジュニア世代のクライミングが非常に楽しみだと思えました。

これも、子供たちが通っているクライミングジムで指導されているスタッフ、ジムオーナーのおかげだと実感できます。兵庫岳連としても、これらのクライミングとの連携が、兵庫県のユース世代の競技力強化に必要だと思えました。(山内教史)

貴重な自然を守るために

私たちが胸ときめかせる喜びと感動を受けた大切な自然を末永く伝えるためと爽快感と充実感のある山登りを神戸ザックは応援します

オリジナルザック & 登山用品専門店

神戸ザック TEL (078) 621-5851
FAX (078) 621-3528
http://www.h2.dion.ne.jp/~kobezac



神戸市長田区日吉町3丁目1番30号
〒653-0039 カナゾノビル2F

世界の山旅・辺境の旅 カタログご請求ください

お一人参加でも安心のパッケージツアーから、お仲間でご企画するオーダーメイドツアーまで。お気軽にご相談ください。



〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 第7東洋海幸ビル4階 ☎03-3503-1911
大阪 ☎06-6444-3033 名古屋 ☎052-581-3211 福岡 ☎092-715-1557
e-mail: info@alpine-tour.com http://www.alpine-tour.com

美しい自然、大切な自然を子孫に伝えよう

兵庫県山岳連盟

定時総会

4月16日(土)午後1時より、神戸登山研修所にて開催致します。

今年は役員改選年となります。ご多忙とは存じますが各位のご出席をお願いします。

サークルHMA総会

4月23日(日)午後1時より、神戸登山研修所にて開催致します。

会員及び関係者はご参集をお願いいたします。

神戸登山研修所

電話番号・FAX変更

6月1日より、IP電話導入に伴い、神戸登山研修所の電話番号及びFAX番号が変更になります。

新電話番号

078-940-1850

新FAX番号

078-940-1851

なお、しばらくは旧番号と併用させていただきます。

インターネット光回線、無線ランも使用可能となります。

神戸登山研修所

休館日のお知らせ

4月29日(土)から5月5日(金)まで休館します。

緊急連絡は古賀理事長宅 078-987-5828

日本山岳協会

山岳共済会のお知らせ

4月は山岳遭難・捜索保険の更新月です。

山岳保険の加入は登山者のマナーです。

新規加入、更新をして春山登山に臨みましょう。

山岳共済会のしおり、及び加入申込書は、神戸登山研修所に備えています。

自然観察散歩・東裏六甲

赤子谷東尾根を辿る

マイナーなコースの自然に触れます

開催日: 4月23日(日)

集合: 9時30分

コース: JR生瀬駅〜水路の道〜山道分岐〜赤子谷東尾根〜縦走路〜塩尾寺〜阪急宝塚駅

約9km 中級コース

15時頃解散予定

みんなで歩こう 緑の山を!

神戸市民山の会のお知らせ

第826回例会

陽春の再度公園

開催日 4月16日(日)

集合 諏訪山公園

午前9時

コース 市バス諏訪山公園下〜ビナスブリッジ

〜狸々池〜二本松林道

縦走路出口〜再度公園

大師道〜灯笼茶屋下

バス諏訪山公園下

(約8km 一般向け)

担当 再度山の高田 寛

廣橋成泰、永井利昭、酒井 巧、和嶋美知子、岸本弘子の皆さん

植物観察と読図を学びます。 会費: 会員 200円 一般 400円

甲山登山支援に対して、日本山岳協会会長より特別表彰されました。

兵庫県体育協会

体育功労賞受賞

2月10日兵庫県公館に於いて、西原斗司男常任理事が長年の山岳連盟運営に携わり、兵庫県体育協会の発展に寄与されたとして表彰されました。おめでとうございます。

氷ノ山新緑登山

フェスティバル

氷ノ山鉢伏観光協会では左記の登山を計画し参加者を募集しています。

【4月29日】

残雪の氷ノ山を歩いてみよう

コース: 東尾根登山口〜氷ノ山頂上往復

参加費: 10000円

前泊宿泊費込

募集人数: 30名(大人のみ)

【5月21日】

新緑の息吹を感じて登ろう

コース: 福定〜布滝〜氷ノ山 越え〜氷ノ山頂上〜神大ヒュッテ〜東尾根避難小屋

〜東尾根登山口〜福定 参加費: 10000円(大人) 8000円(子供)

前泊宿泊費込

当日参加費: 12000円

参加申し込み先

氷ノ山鉢伏観光協会

TEL: 079-667-3159

寄贈ありがとうございました

山と溪谷2017・4月号・山と溪谷社。雪3月号・神戸市消防局。兵庫労山No.446・兵庫県勤労者山岳連盟。レッドベレーズNo.391。登山月報576号(公社法) 日本山岳協会。木雞3月号・好山好会。AC・KU・News・神戸大学山岳部、山岳会。

四月の行事予定

▽5日 常任理事会

▽8〜9日 県民体育大会山岳競技会兼愛媛国体県内予選会(姫路・神戸)

▽16日 定時総会

▽23日 サークルHMA総会

▽23日 自然観察山歩

東裏六甲赤子谷東尾根

▽26日 運営委員会

【編集者のツブヤ記】

▽一昔前、編集者がまだ若かった頃、継続登攀がブームとなり山岳誌にも多くの記録が紹介されていました。最近はどうかなと感じていましたが、丹波山岳会の吉廣氏からの寄稿では継続登攀が健在で、いよいよ佳境に入ってきました。次号では、飛ぶ鳥も留まらないと言われた滝谷です。どんなドラマが展開されるのか、楽しみにしています。(伊藤一雄)

mont-bell アウトドア用品は、お近くのモンベルストアへ! www.montbell.jp